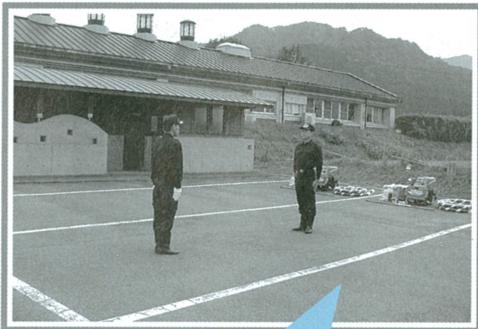




サイクルネット工事（看板設置）
総決算額 4052万円



観光は、南阿蘇村
の主要事業



写真はポンプ受け渡し式のような
非常備消防費—ポンプ等備品購入費
総決算額 793万円



平成19年度決算審査意見書（監査委員 興梶良蔵・長野敏也）……………抜粋

審査の結果については、係数に誤りはなく関係諸表も一部記載洩れも見受けられたが再確のため関係資料等の提出を求め確認をした。全体的には概ね整理され会計処理は正確であることを認めた。

今回は各課、各事務局等も合併後3年を経過して村の全体的状況も殆ど把握できた中で地についた行政運営ができたものと感じた。この様な背景を踏まえながら審査を行った。

全体的には村民の理解と行政担当者の努力によって健全に運営され黒字決算を以て次年度に引継ぎされている。このことは財政収支の均等保持に留意しながら経費節減に努め、厳しい状況の中でも農業振興対策、集落道路整備をはじめ各分野に於ける諸々の計画も着実に執行されている。

いずれにしろ成果を収めた事は執行部と議会の理解、そして、村民の協力の賜物と考える。

他方、国をめぐる社会情勢は変化しつつある。国会がねじれ現象の中、原油高によるガソリンをはじめ、それに関連する諸物価の値上がり、又、高齢者医療制度の見直し、それに、年金、医療、介護関連は対象人口が年々自然増が予測される中で地方が疲弊しない様に取り巻く環境の厳しさを理解され、不安材料を取り除く対応策を期待したいものです。

経済見通し等によれば全体的に景気は下方修正の方向ではといわれているが、昨年も記しているように、地方は人口減少（限界集落）、医師不足（介護をどうする）、公共事業の削減（減ずるだけの政策では）等々、現実問題として対応策を考えないといけない時期になりつつある。

この様な諸般の状況の中で課題をクリアしながら合併の道を選択した原点に再度立ちかえり、安心して住み良い村づくりに議会、執行部がそれぞれの立場で村の発展につなげていけるようお願いしながら結びとする。